

2021年9月11日

乗木養一

4年A漢字「特」指導対象漢字語候補 語釈・文例集

「教育基本語イ表」や「国字研プリント」、教科書などであつかわれている語について、各種国語辞典から語釈と文例、「国字研プリント」や教科書などからおもな文例をあつめました。検討資料ということから、似たような語釈、文例もならべています。必要に応じて参照ください。

本資料に掲載するコトバ

()内の数字は、別資料「語イ表」の50音順整理番号。

		ページ		
1.	(26) 特に	2	国字研プリント・幼児	
2.	(31) 特別	7	国字研プリント・学習論理語イ・批判読み・児言研・幼児	
3.	(7) 特殊	12	学習論理語イ・批判読み・児言研	
		14	(11) 特性	(6) 特質
4.	(10) 特色	16	児言研・批判読み	
5.	(20) 特徴	18	国字研プリント・批判読み・児言研	
6.	(19) 特長	19	児言研	
7.	(21) 特定	23	児言研(中学B)	
8.	(25) 独特	26	児言研(中学B)	
9.	(38) 特有	28		
10.	(43) 特急	29	国字研プリント	
11.	(15) 特大	30	(12) 特製	(29) 特売 (4) 特産
	(14) 特選	30	(24) 特等	
	(46) 特訓	30	(18) 特注	(8) 特集

[国字研プリント] 『たのしくみにつく漢字の力』ルック 2006年

[学習論理語イ] 武部優子作成「学習論理語イ一覧表」1962年

[批判読み] 見城慶和作成，東京都教組荒川教研国語部会『批判読み』1963年

[児言研] 「児言研国語科教育基本語い・第一次試案」1962年

[阪本教育基本語イ] 阪本一郎『教育基本語彙』1958年，『新教育基本語彙』1984年

[幼児] 大久保愛「就学前幼児の語彙－4児による日常生活語の実態－」1982年

1. (26) 特に

[国字研プリント] 「交通じこには、**特に**気をつけよう。」

[阪本教育基本語イ] 小学校高学年第1レベル

[就学前幼児の語イ調査] 6才3か月の女兒1名がある土曜日の約12時間のなかで1回つかった。

とくに【特に】副詞

(その中でも) 特別に

《ことに》《とりわけて》《ことさら》《**特別** (に)・格別 (に)・格段 (に)》

- ① *多くあるもの(場合)の中から、そのもの(場合)だけ**とりだして言う**ようす。
*それだけをとりにたてていうさま。
*他と区別して取り扱うさま。他からはっきりと区別されるさま。
*ほかの一般の場合とは全く異なった扱いであることを表わす。

「特にこの点に注目しよう。」「今朝は特に冷えこんだ。」「この夏は特に暑かった。」
「大ぜいの中から特に彼を選んだ。」「特に君のために注文したんだ。」(≒わざわざ)
「特に名を秘す。」「特に注意して取扱う。」「特に入念に仕上げる。」
「特に問題はない。」「特に用事はない。」「特に出向く必要はない。」
「特に用意して来る必要は無い。」(≒特別に)

- ② *多くあるもの(場合)の中から、そのもの(場合)だけ**特別扱い**するようす。
*ふつうと異なって際立っているさま。
*ほかのどんなものも比較が出来ないほどである様子。

「特に心ひかれる作品。」「私は音楽の中で特にロックに興味を持っている。」
「数学が特に悪い。」「大事なレコードだけど、特にあなたにだけ貸してあげる。」
「健康には特に気をつけている。」「この市は県内でも特に人口が増加した。」

- ③ 下に打ち消しの語を伴ってとりたてて言うほどに**ない**ことを表す言いかた
《これといって・とりたてて・ことさらに・別段・別に》

「特に変わったところはない。」「特に欲しいものはない。」「特に、することもない。」

[注] 日常語では①②の区別はとりたてて意識されないし、意識する必要もない。

「特に」の用例

- 26-01 交通じこには、**特に**気をつけよう。 (国字研プリント)
- 26-02 また、みぶりは、**とくに**気もちをつよくあらわすことがあります。うれしいときには、りょう手を上げてばんざいをします。こまったときには、あたまに手をあてたりします。 (野村雅一「みぶりでつたえる」教育出版1下)
- 26-03 「たがめ」や「げんごろう」、「やご」や「みずかまきり」などの、水の中にいるこん虫は、**とくに**こわいてきてです。 (杉浦宏「めだか」教育出版3上)
- 26-04 ある日のこと、あなぐまは、もぐらとかえるのかけっこを見に、おかに登りました。その日は、**とくに**年をとったような気がしました。
(スーザン=バーレイ「わすれないおくりもの」教育出版3上)
- 26-05 **特に**見てほしい部分は、近くから写した社会を使って説明している。
(「不思議ずかん」を作ろう 教育出版4下)
- 26-06 仕事がいそがしい一週間のうち、**特に**いそがしい何日かは、家に帰るのが真夜中の二時や三時になる。
(重松清「カレーライス」光村図書5年)
- 26-07 そのころ「フルート」といえば、普通、リコーダー(地域によっては、**特に**アルトリコーダー)のことを指していたぐらいです。
(『中学生の器楽』教育芸術社)
- 26-08 1. 2歳の子どもの発育・発達の中で、歩けるようになることと、言葉を話せるようになることは**特に**重要なできごとである。
(技術家庭科『生活技術』教育図書 高等学校)
- 26-09 奈良市では、さらしやうちわなどの伝統的な地場産業がさかんで、**とくに**古くから寺でつくられていた筆と墨は、日本有数の生産量を誇っている。
(『新詳地理B 最新版』帝国書院 高等学校)
- 26-10 赤道低圧帯周辺は降水量が**とくに**多い。 (『新地理A』帝国書院 高等学校)
- 26-11 イスラーム教徒はギリシア哲学、**とくに**アリストテレスの哲学を熱心に研究した。
(『新詳世界史』山川出版社 高等学校)

〔表記〕「とくに」「特に」

◎内閣告示第三十二号 (官報十一月十六日)
 現代國語を書きあらわすために、日常使用する漢字の範囲を、次の表のよう
 に定める。
 昭和二十一年十一月十六日
 内閣総理大臣 吉田 茂
 当用漢字表

まえがき
 一、この表は、法令・公用文書・新聞・雑誌および一般社会で、使用する漢字の範囲を示したものである。
 二、この表は、今日の國民生活の上で、漢字の制限があまり無理がなく行われることをめやすとして選んだものである。
 一、固有名詞については、法規上その他に關係するところが大きいので、別に考えることとした。
 一、簡易字体については、現在慣用されているものの中から採用し、これを本体として、参考のため原字をその下に掲げた。
 一、字体と音訓との整理については、調査中である。

使用上の注意事項
 イ、この表の漢字で書きあらわせないことは、別のことばにかえるか、または、かな書きにする。
 ロ、代名詞 **副詞** 接続詞・感動詞・助動詞・助詞は、なるべくかな書きにする。

「とくに」と「特に」は、表記にゆれが生じています。この語は、副詞なのでほんらいかな書きするものでした。「当用漢字表」の「使用上の注意事項」には、**副詞**は、なるべくかな書きにするという一項がありました。しかし例示がないため、徹底されないまま現状にいたっています。

小学校中学校の教科書は、「特」が教育漢字ということから配当学年の4年以降は、「特」の指導のため機械的に漢字表記しています。高等学校となると出版社によって表記が両様となります。新聞の場合も統一されていません。

(一例)

専門誌に聞け

長引くコロナ禍は、国内の雇用や働き方に深刻な影響を及ぼしています。**とくに**飲食や観光などサービス産業で働く非正規職の女性を直撃しました。

- 【1】(専門誌に聞け) 若者が考える雇用のいま 朝日新聞 2021年9月8日
- 【2】映画「ミス・マルクス」政治語る人々 朝日新聞 2021年9月3日夕刊
- 【3】ヤクルト12-0阪神 朝日新聞 2021年9月8日

【2】

マルクス主義という思想の生みの親であるカール・マルクスには、エリノアという娘がいた。16歳で父親の秘書になり、労働者の権利の向上などに努めたが、**とくに**男には気がつきにくい女性の権利の主張には力をつくしたという。

【3】

ヤクルト12-0阪神 投げやすいです。大事なセ・リーグの優勝戦線カード初戦で二塁さえ踏まに、ヤクルトが来た。首位 阪神を圧倒し、この日は上位3強で「ひとり勝ち」だ。高卒2年目の奥川が7回2安打無失点。慣れ親しんだ甲子園で、プロとしては初白星をつかんだ。やはり特別なマウンドだった。「楽しかったです。高津監督も「完璧です」。

かな書きが定着している副詞の例

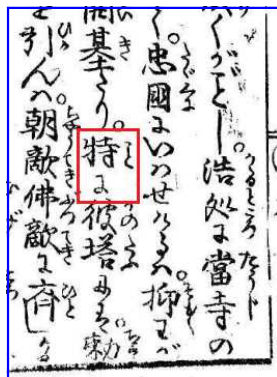
いたずらに・いっぱい・しきりに・しだいに・すでに・ついに・まことに・ろくに

[用法] 【特に】 【ことに】 【とりわけ】 【ことさら】

- ◇「今年の夏は□□暑かった」など、取り立てていう意では相通じて用いられる。
- ◇【特に】は、「大事なレコードだけど、**特に**あなたにだけ貸してあげる」のように、他と区別して特別に扱う意であり、この場合「ことに」は用いない。
- ◇【ことに】は「小さい子どもは活発なものだが、**ことに**この子はよく動く」のように物事の程度が他と比べて一段と高い、という意で用いられる。
- ◇類似の語に【とりわけ】があるが、《全般にそうだが中でも》という意で「特に」「ことに」と同じように使われる。 (小学館 デジタル大辞泉)
- ◇【とりわけ】は、多くのものの中で、とくにそのものに注目するようすをいう。
「□□今日は暑い。」「□□目立つ存在。」 (学研 国語大辞典)
- ◇【ことさら】には《わざと》《わざわざ》などの意味もあるが、《他を排除して、その事に重点を置くことを表わす》場合には、【特に】【とりわけ】【ことに】などと相通じて用いられる。
「今、□□私が申し上げますのは、この理由に基づくのであります。」(≒あえて)
「□□むずかしい言葉を使う。」「赤を□□強調する。」 (三省堂 新明解国語辞典)

[語誌] 「特に」と表記して【とくに】とよむようになったのは20世紀

さよ(副) 殊・特 (異ニノ意) 別段ニ。別シテ。取り分ケテ。一段ト。「山里ハ、秋こそことにわびしけれ、常よりことに人ぞ待たるる」
ヨリよとよ、人ぞ待たるる



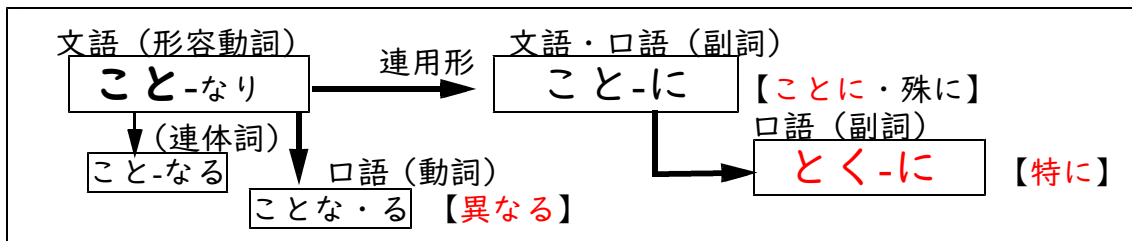
もともと「特に」は【ことに】と訓でよまれてきました。

【左図】「わが山は仁明天皇の勅願にして弘法大師の開基たり。特に【ことに】彼塔には勅封の仏舍利を納たるに。これに對ひて弓を引んは朝敵佛敵に齊[ひと]しかるべし。」
(曲亭馬琴『鎮西八郎爲朝外傳椿説弓張月』1807年)
(国文学研究資料館)

【左図】「ことに (副) 「殊・特」 [異にの意] 別段に。別して。取り分けて。一段と。「山里は、秋こそことに わびしけれ、常より ことに 人ぞ待たるる」
(大槻文彦『日本辞書 言海』1889年) (ことにの「こ」「に」は変体仮名)

「特に」を【とくに】とよんだ初出例は1909年

「予が真に詩を知り初めたるは僅に此の二三年の事に属す。されば此の間の前後に作られたる種々の傾向の詩は皆予が初期の試作たるを免れず。従て本集の編纂に際しては**特に**自信ある代表作のみを精査し、少年時の長篇五六及其後の新旧作七十篇の余は遺憾なく割愛したり。」(北原白秋『邪宗門』例言 1909年)



「特に」のルーツをたどると、形容動詞（ナリ活用）の文語「こと」にゆきつきます。

「こと」（終止形 こと-なり）は古代前期からあり《ふつうとちがっている。変わっている。特別だ。特に》という意味で、善悪どちらでももちいられました。表記は「異なり」「殊なり」「特なり」などがありました。

(例) 「野は殊異【ことに】して」(万葉集 12), 「心ことになるなりといふ」(竹取物語)
「かくことなることなき人」(特にすぐれていることもない人, 源氏物語 夕顔)

「こと-なり」の連用形「ことに」が《とりわけて。格別に。いちだんと》の意味の副詞となります。表記は「ことに」「異に」「殊に」「事に」「別に」「特に」などがみられました。

(例) 「殊【ことに】着ほしき」(万葉集7)
「その院の桜ことにおもしろし」(桜が格別に美しい, 伊勢物語 82)
「人のよろこびしてはしらする車の音、ことに聞えてをかし」(枕草子 3)

この副詞は、近世から近代にかけて、口語となります。

複数ある表記のうち「特に」は文語では【ことに】と訓読されていましたが、口語化の過程で、【とくに】と音で読むようになったのです。

一方の【ことに】の表記は、現代日本語では「ことに」か「殊に」にしぼられるようになりました。

(1973年の「当用漢字改定音訓表」で「殊」に【こと】が追加された。)

つまり「とくに【特に】」と「ことに【殊に】」は、もとをたどると、意味のうえでは、まったくおなじなのです。

なお形容動詞「こと」はさまざまな派生語をうみました。

連体形「こと-なる」は、《格別の。特別の》という意味の連体詞になります。

(例) 「ことなるゆゑなくて」(特別な理由もなく, 方丈記 都遷り)

近代には、「こと-なり」が動詞に転用され、口語「こと-な-る」【異なる】がうまれます。《同じでない。違っている。特別である》という意味でこんにち使われています。

2. (31) 特別

〔国字研プリント〕「けさのひえこみは、**特別**だ。」

〔学習論理語イ〕人間の知的活動用語（認識）小学校3年

〔批判読み教育基本語イ〕論理性を確かにし感情の質を高めるもの、小学校3年

〔児言研教育基本語イ〕小A

〔阪本教育基本語イ〕小学校低学年第1レベル

〔就学前幼児の語イ調査〕6才3か月の女兒1名がある土曜日の約12時間のなかで2回つかった。「**とくべつ**」形容動詞。

とくべつ【特別】名詞・形容動詞・副詞

ふつうとはちがうようす

① 名詞・形容動詞

《**特殊**》《格別（に）・格段（に）・別格・例外》《スペシャル》

→ 普通・一般・通常

① 《ふつうとちがって**区別**されること》

* 一般と異なる性質を持っており、広く通用している物とは区別されるようす

《ふつうとちがって区別され、**すぐれてとびぬけている**》

* 特段の取りあつかいをするようす

「特別な味を楽しむ（≡格別）。」「特別な（の）準備（≡格別）。」「特別な存在。」

「特別な才能をもつ人（≡特殊）。」「特別な（の）感情は持っていない。」

「特別な扱いはしないしてほしい。」「特別扱いする。」「特別に安くしてやろう。」

「特別に許可する。」「政治家は特別だよ（≡例外）。」「おもしろさは特別だ。」

※民法（1896年）三六条「法律又は条約中に**特別**の規定あるものは此限に在らず」

② 《もっぱらそのことのために設けられたものであること》 **造語成分** ⇒ P.7

「特別教室」「特別支援学級」「特別支援学校」「特別急行列車」「特別天然記念物」

② 副詞

① **程度**をつよめる言いかた《他とはっきり区別されるさま》

《**特に**》《ことに・ことのほか・とりわけ》

「今日は**特別**寒い。」「**特別**大きいシャツを着た。」「この店のケーキは**特別**おいしい。」

② 下に打ち消しの語を伴って

a **程度**がつよくないことを表す言いかた 《それほど・たいして・別に》

「この服は**特別**高価ではない。」「**特別**おもしろくない本だ。」「**特別**気にしていない。」

b **とりたてるべきものがない**ことを表す言いかた《これと違って・別段・別に》

「**特別**変わったところはない。」「**特別**欲しいものはない。」「**特別**することもない。」

「特別」の用例

- 31-01 そこで、残雪がやってきたと知ると、大造じいさんは、今年こそはと、かねて考えておいた**特別な**方法に取りかかった。(椋鳩十「大造じいさんとがん」5年)
- 31-02 随筆は、自分が体験したことから題材を選ぶことが大切です。しかし、それは、**特別な**事柄に限りません。(「随筆を書こう」教育出版 2015 年版 6年)
- 31-03 二字以上の漢字が結び付いた言葉の中には、全体をひとまとめにして、**特別な**読み方をするものがあります。(「漢字の読み方と使い方」光村図書 5年)
- 31-04 「NO.1 にならなくてもいい もともと**特別な** Only one」
(槇原敬之「世界に一つだけの花」)
- 31-05 そこで、ウイルソンは、はたらきありの体の仕組みを、細かに研究してみました。すると、ありは、おしりのところから、**とくべつ**のえきを出すことが分かりました。(大滝哲也「ありの行列」光村図書 3年)
- 31-06 「へえ。じゃあ、**とくべつ**メニューってわけ。」
「そうです。とくとく、**とくべつ**メニュー。」
「さあさあ、しずかにしなさい。おとやさんの、とくとく、**とくべつ**メニューなんだから。」
(林原玉枝「きつつきの商売」光村図書 3年上)
- 31-07 狂言は、特殊な人の身の上の上で起こった**特別な**事件ではなく、だれの身にも起こり、だれもが経験しそうな出来事をえがいています。(「狂言」光村図書 6年)
- 31-08 「それでは残念ですが、兄さんたちはお断りです。あなたがただけいらっしやい。**特別な**席をとっておきますから。」(宮沢賢治「雪わたり」教育出版 5年)
- 31-09 **特別な**養子縁組が実現すると、うみの親との法律上の親族関係は終了し、育ての親の方からは離縁できない。(『家庭基礎 自分らしい生き方とパートナーシップ』)
- 31-10 けさのひえこみは、**特別な**だ。(国字研プリント)
- 31-11 白鷹さんは、製鉄会社に相談して、**特別な**に純度の高い鉄を用意してもらうことにした。(内藤誠吾「千年の釘にいどむ」光村図書 2015 年版 5年)
- 31-12 おみつさんは、**特別な**美しいおすめというわけでもありませんでしたが、体がじょうぶで、気立てがやさしくて、いつもほがらかにくるくと働いていたので、村中の人たちから好かれていました。
(杉みき子「わらぐつの中の神様」光村図書 2015 年版 5年)

〔用法〕「特別」「特別の」のほかに「特別な」「特別に」といった派生語や「特別□□」といって複合語が多数みられる。

造語成分としての「特別」 つぎつぎとかんたんに複合語がつくられる

《もっぱらそのことのために設けられたものであることをあらわす》

〔赤字〕は略語。→青字は対義語あるいは系列語。

【特別教室】	→普通教室
【特別活動】〔特活〕	→各教科・総合的な学習の時間
【特別支援学級】	→通常の学級
【特別支援学校】	→小学校・中学校・高等学校
【特別授業】	(出前授業・補習)「小・中・高連携の特別授業」
【特別急行列車(電車)】〔特急〕	→急行列車→各駅停車 「特急券」
【特別快速】〔特快〕	「通勤特快・中央特快・青梅特快」
【快速特別急行】(快速特急)〔快特〕	「通勤快特・エアポート快特」
【特別病棟】(特別病室)〔特別室〕	→一般病棟・産科病棟
【特別電報】〔特電〕	(欧文電報・無線電報・報道電報・報道無線電報・気象電報)
【特別区域】〔特区〕	(国家戦略特別区域)「経済特区・先端医療開発特区」
【特別席】	→一般席
【特別賞】	
【特別枠】	
【特別号】	→通常号
【特別便】	→定期便
【特別展】	→常設展
【特別展示中】	
【特別公開】	
【特別上映】	
【特別企画】	
【特別出演】	
【特別番組】〔特番〕	
【特別講義】〔特講〕	
【特別メニュー】	
【特別仕様】	
【特別販売】	
【特別配当】〔特配〕	
【特別訓練】〔特訓〕	
【特別列車】	
【日航特別機】	
【特別輸送機】	
【特別塗装機】	
【特別客室】〔特別室〕	
【特別ユニホーム】	
【特別出場枠】	
【特別天然記念物】	→天然記念物
【特別史跡】	→史跡
【特別名勝】	→名勝
【特別栽培米】〔特裁米〕	→計画流通米
【特別休暇】	→法定休暇
【特別養子縁組】	→普通養子縁組
【特別職】	→一般職
【特別国会】(特別会)	→通常国会(常会)
【特別会計】	→一般会計
【特別委員会】	→常任委員会
【特別措置法】〔特措法〕	→一般法
【特別抗告】	→一般抗告
【特別警報】	→警報
【土砂災害特別警戒区域】	→土砂災害警戒区域
【特別養護老人ホーム】〔特養〕	「特養ホーム」
【特別注文・特別発注】〔特注〕	「特注品」
【特別派遣】〔特派〕	「特派員」「特別派遣部隊」
【特別親善大使】	【特別攻撃隊】〔特攻〕
【特別功労表彰】	【海軍特別少年兵】
【東京都特別区】	【特別高等警察】〔特高〕
【復興特別所得税】	【特別あつかい】
【特別定額給付金】	【特別待遇】
【特別在留許可】	【特別サービス】
【特別弁護人】	【特別視】(する)
【特別背任罪】	【特別顧問】【特別秘書】

【特別な読み方をする言葉】常用漢字表にかかげる「付表の語」のこと。いわゆるあて字，熟字訓など，主として一字一字の音訓として「本表」にあげにくいものをまとめて116語あげている。「明日」[あす]，「小豆」[あずき]など。2017年，文部科学省はこれを「付表1」と名づけ，府県名のうち12語をあて字，熟字訓と同様にあつかうとし「付表2」とした。「付表2」は，すべて第4学年であつかう。

愛媛・茨城・岐阜・鹿児島・滋賀・宮城・神奈川・鳥取・大阪・富山・大分・奈良

【特別史跡名勝天然記念物及び史跡名勝天然記念物指定基準】文化財保護法第109条をもとに設定されている指定基準。答申をもとに文部科学大臣が指定する。

【特別史跡】文化財保護法によって指定された史跡のうち，特に，歴史上，学術上の価値の高いものとし指定された史跡。高松塚古墳など。

【特別名勝】文化財保護法によって指定された名勝の中でも特に価値の高いものとされる景観。富士山，虹の松原，兼六園，識名園（琉球王家の別邸跡）など。

【特別天然記念物】文化財保護法によって指定された天然記念物のうち特に世界的にまた国家的に価値が高いとして指定されたもの。保護・保存がより徹底される。イリオモテヤマネコ・オオサンショウウオ・屋久島のスギ原始林など。

【特別養護老人ホーム】常時介護が必要で，自宅での生活が困難になった高齢者が入居し，日常生活の支援や機能訓練，療養上の世話などのサービスを受けながら生活する施設。介護保険法では「介護老人福祉施設」と呼ばれる。

【特別養子縁組】養子と実親の法的な親子関係を解消させ，養親との間に実の親子と同様の関係を成立させる養子縁組。[→普通養子縁組]

【特別少年院】2015年6月施行の現行少年院法では名称が「第2種少年院」にあらためられた。心身に著しい故障はないが犯罪傾向の進んだ，おおむね16歳以上23歳未満の者を収容する。

【特別休暇】法律の定めがない「法定外休暇」。[→法定休暇：年次有給休暇・産前産後休業・育児休業・子の看護休暇・生理休暇・介護休業・休暇など]

【特別国会】法令上は「特別会」。[→通常国会（常会）]

【特別警報】重大な災害の起こるおそれが著しく大きい場合に行う特別な警報。大雨・暴風・高潮・波浪・大雪・暴風雪の6種類。

【特別措置法】行政法の一つ。現行の法制度では対応できない場合に，集中的に対処する目的で特別に制定される法律。（新型インフルエンザ等対策特別措置法）

《特別》の意味を「特」の字に もたせている漢字語

特別 = ふつうとちがって区別される

- 【特大】特別に→大きい。「特大ケーキ」
- 【特性】特別の→性質 [→通性]
- 【特設】特別な→設置。「特設スタジオ」
- 【特命】特別の→命令。特別の→任命。「特命全権大使」
- 【特使】特別の任務をもった。「米国大統領の特使」
- 【特派】特別な→派遣。「海外特派員」
- 【特約】特別の→契約。「特約店」
- 【特典】特別の→恩典。(特別の待遇)。「割引の特典」
- 【特許】特別の→許し
- 【特例】特別の→例。特別に設けた→例外 [→通例]「特例措置」
- 【特配】特別の→配当。特別の→配給
- 【特価】特別に安い→価格
- 【特売】特別に安く→売る「特売品」
- 【特報】特別な→報道。「ニュース特報」

特別 = ふつうとちがって区別され、すぐれてとびぬけている

- 【特長】特別の→長所
- 【特技】特別の→技能 (特にすぐれた→技量)
- 【特選】特別に→選抜する。(特別に→選抜されたもの)
- 【特賞】特別に設けた→賞
- 【特等】特別すぐれた→等級。(通常, 一等のさらに上位のもの)「特等席」
- 【特製】特別なつくりかた→製品 (特別製) [→並製]

3. (7) 特殊

- 〔学習論理語イ〕人間の知的活動用語（認識）小学校6年
- 〔批判読み教育基本語イ〕中学校1年
- 〔児言研教育基本語イ〕小A
- 〔阪本教育基本語イ〕中学校第1レベル

とくしゅ【特殊】名詞・形容動詞

ふつうとことなっているようす

① 《特別・特異》 → 一般・普通

- 《ふつうと異なること》《特別であること》
- 《性質・内容などが、他と著しく異なること》
- 《機能・用途・目的などが限られること》
- 《専門・専用であること》

「特殊な事件」「特殊な装置」「特殊な製法で作られた薬」
 「特殊な細菌」「特殊な技能」「特殊技術」「特殊撮影（特撮）」
 「特殊詐欺」「特殊法人」「特殊鋼」「両者の関係は極めて特殊だ。」
 「特殊性＝一般性・普遍性」「特殊化＝一般化」

② 《他のどのカテゴリーにも属さない》 → 普遍

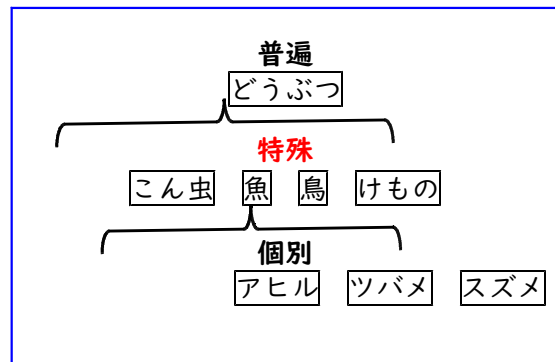
- 《限られた範囲のものにしかあてはまらないこと》
- 《ある種類のもの全体にわたるのではなく、限られた若干のものだけにいえること》

「特殊なケース」「特殊な例」「特殊な事例」「特殊な原理」「特殊事情」

③ 論理学の訳語

Universal, **Particular**, and Individual

普遍 [universal] が全体にかかわり、**個別** [individual] がその全体に含まれる個々の要素にかかわるのに対し、**特殊** [particular] は全体の一部にかかわることをいう。



特殊 [special] 類種系列において、下位のものの上位のものに対するより限定されたありかたをいう。
 (三省堂 ハイブリッド新辞林)

人間の知的活動用語	
認識	
べみ つん べつな	小学一年
全体	小学二年
とくべつ	小学三年
部分	小学四年
一般	小学五年
個別 特殊	小学六年
	中学

児言研試案 学習「論理語イ」一覧表 (このまま教室に掲示しておく)

「特殊」の用例

7-01 狂言は、特別な人の身の上で起こった特殊な事件ではなく、だれの身にも起こり、だれもが経験しそうな出来事をえがいています。見る人々がそれぞれ、自分のこととして考えるとよいのです。

(山本東次郎「柿山伏」について、光村図書 2011 年-2020 年版, 6 年)

狂言は、特殊な人の身の上で起こった特別の事件ではなく、だれの身にも起こり、だれもが経験しそうな出来事をえがいています。

(山本東次郎「柿山伏」について、光村図書 2006 年版, 6 年)

[注]「特殊」と「特別」のちがいについて考察するうえで重要な題材になります。

7-02 「だろ・だっ(で・に)・だ・な・なら」と活用するものを形容動詞というが、「同じだ」は連体形の活用のしかたが特殊なことがわかる。

(『国語』3 光村図書, 2005 年版, 中学校 3 年)

[注]「同じ」を形容動詞とみる場合(終止形「同じだ」), 連体形は「一な」の形ではなく、語幹(おなじ)がつかわれる。そのような場合を「連体詞」とする説もある。

7-03 「生分解性プラスチック」菌類, 細菌類によって分解される特殊なプラスチックでつくられているため, 地中にうめておくと, ぼろぼろになる。

(『新しい科学』第 1 分野下, 東京書籍 2005 年版, 中学校)

7-04 死刑囚は、脱出しても処刑される特殊条件があるから別として、老人夫婦と婚約者の男には、指名された連中と同様、生きる権利があるはずだ。

(『現代文』教育出版 2007 年版, 高等学校)

7-05 アインシュタインが特殊相対性理論を発表した 1905 年の論文は「運動物体の電気力学について」という題だが、この論文は、磁石を静止させたままで導体を動かした場合と、導体を静止させたままで磁石を動かした場合とで、磁石と導体の間の相対速度が同じであれば、同じ大きさで同じ向きの電流が導体に流れることの確認からはじまっている。

(『理科基礎』自然のすがた・科学の見かた, 東京書籍 2005 年版, 高等学校)

7-06 戦後経営の一環として、民間産業を振興させるために、いろいろな特殊銀行を設立し、資金を供給させた。(『現代の日本史』山川出版社 2006 年版, 高等学校)

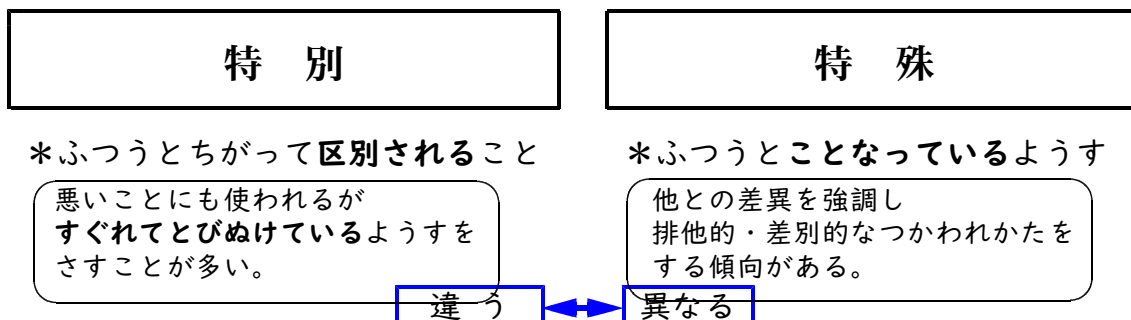
7-07 各省庁の権限と業界利益との密接なつながりを示すものとしての官僚退職者の企業などへの「天下り」や、官庁組織の周辺にいくえにも張りめぐらされた特殊法人や公益法人の不透明な経営のあり方なども、世論の批判の的になっている。

(『現代社会』東京書籍 2005 年版, 高等学校)

7-08 すべての労働者を対象とする一般健康診断と、有害な業務に従事する労働者を対象にする特殊健康診断が実施されています。

(『現代保健体育』大修館書店 2006 年版, 高等学校)

[用法] 「特別」と「特殊」



日常語 的 ←————→ 文章語 的

物事を 主観的 にとらえて 普通とは別扱いにしている。	1	異なる という事実を 客観的 なものとしている。
【 特別な服 】個人的に大事な服。 形見の服，思い出の服など。	1	【 特殊な服 】一般で着ない服。 消防服，宇宙服，防弾服など。
【 特別な能力 】 ほかの人ももつ場合があるが， ほかの人よりすぐれた能力		【 特殊な能力 】 一般の人にはないような， その人だけがもつ能力
【 特性 】特別の→性質 そのものだけがもっている 特別の性質。	2	【 特質 】特殊な→性質 そのものだけがもっている 特殊な性質（独特な性質）。

1 大修館書店『明鏡国語辞典』, 2 岩波書店『広辞苑』

『現代日本語書き言葉均衡コーパス』 対象は 1976 年から 2005 年の文書
 「特別」 14129 件（法律 849 件・国会会議録 1418 件・教科書 58 件）
 「特殊」 4759 件（法律 37 件・国会会議録 369 件・教科書 22 件）

[用例]

【**特別な道具**】「流星群の観察に望遠鏡や双眼鏡などの**特別な道具**は必要ない。
肉眼で観察できる。」

【**特殊な道具**】「世界最高水準と言われる日本の木造建築技術は 19 世紀末ごろに
ピークを迎え、精巧に加工するため、大工は約 180 点もの**特殊な道具一式**をそ
ろえていた。」

【**特殊工具**】（Special Service Tool：SST）→「一般工具」

ふつうのドライバーやレンチなどのような汎用性がなく、ひとつの作業だけ
に使うものだが、自動車のメンテナンスでは必ず必要になる重要な工具。

【**特殊講義**】[**特講**] →「特別講義」[**特講**]（外部人材による特別講座）

【**特殊任務**】[**特務**]（特務機関・特殊軍事組織）→「特別任務」

【**特殊自動車**】貨物自動車的一种。クレーンやタンク、または農作業用機械など特殊な装備を有する自動車。
(岩波書店『広辞苑』)

【**特殊免許**】特殊な形状・用途の自動車を運転するための免許。

「小型特殊免許」フォーク・リフト・除雪車・農耕トラクターなど。

「大型特殊免許」ホイールローダー・クレーン車・ブルドーザーなど。

【**特殊船**】特定の用途にあてる船の総称。商船・軍艦以外の漁船・作業船・取締船などをさす。

【**特殊切手**】普通切手・記念切手以外の切手。風景・動植物・美術品などを描くシリーズもののほか、航空切手・軍事切手など。広義には記念切手を含めていう。

【**特殊取扱郵便**】特殊の取扱いをする郵便物。書留・速達・引受時刻証明・配達証明・内容証明・代金引換・特別送達および年賀特別郵便などがある。

【**特殊撮影**】**【特撮】**映画・テレビなどで、特別の機器・装置や技法を使って撮影し、現実には起こり得ないことや特殊な効果を画面に表すこと。高速度撮影・微速度撮影・顕微鏡撮影・トリック撮影・スクリーンプロセスなど。

【**特殊用塩**】用途または性状が特殊な塩。医薬品、試薬塩化ナトリウムなど。

【**特殊製法塩**】製造の方法が特殊な塩。天然塩、自然塩、岩塩、焼き塩、調味塩、うまみ塩など。イオン透過膜・真空釜式でつくられることの多い一般の生活用塩（食塩・食卓塩）や工業塩ではないもの。塩事業法が規定する。

「特殊」から「特別」に

【**特殊教育**】→【**特別支援教育**】

2006年3月に学校教育法等を改正し、「特殊教育」を「特別支援教育」にあらためた。2007年4月1日より施行。

「盲・聾・養護学校」→「**特別支援学校**」, 「特殊学級」→「**特別支援学級**」

【**特殊学級**】「一時的に分類しにくいものを包括的に「特殊」として区別しているが、長期にわたって使用することによって、差別的に扱われていることが多い。」

(東京都中野区総務課長通知, 1982年5月12日)

【**特殊栄養食品制度**】→【**特別用途食品制度**】

「特殊栄養食品」は1952年成立した栄養改善法に定められた食品をいう。乳児用, 幼児用, 妊産婦用, 病者用などの特別用途食品と一般向けの栄養強化食品があった。1996年特殊栄養食品制度が廃止された。現行制度は、**特別用途食品**に高齢者用がくわえられ、一般向けの**特定保健用食品**（機能性食品とよばれる）との二本立ての**特別用途食品制度**となっている。

(朝倉書店『栄養・生化学辞典』に加筆)

【**特殊**】の排外的・差別的な性格

被差別部落の差別的な呼称として使われた。

障害児・非行児童・英才児などが「特殊児童」と呼称されたことがあった。

4. (10) 特色

〔批判読み教育基本語イ〕論理性を確かにし感情の質を高めるもの、小学校5年

〔児言研教育基本語イ〕小B

〔阪本教育基本語イ〕小学校高学年第1レベル

とくしょく【特色】名詞

とくにすぐれたところ

《特別出色》の意
(角川新字源)

色 《おもむき・ようす・きざし・気配》
出色・異色・古色・秋色・暮色・音色
国際色・郷土色・時代色・秋の色・敗北の色

- ① 《ほかとちがうところ》《特にめだつところ》《他と特に異なっているところ》
≡特徴・特性・特質

「特色のある学校をえらぶ。」「特色のある大学。」「日本経済の特色。」「特色を生かす。」
「それぞれの特色を出す。」「他社の製品にない特色。」「これは別に特色の無い本だ。」
「信州地方の風景的・生活的特色。」「中国の特色ある社会主義。」
「今回の選挙制度は、香港の特色ある民主制度を作り上げるためのものだ。」

- ② 《ほかとくらべてすぐれているところ》
《特にすぐれたところ》《他よりもすぐれている点》
≡特長

「特色をアピールする。」「ねばり強さがチームの特色だ。」「特色を発揮する。」
「特色をほこる。」「立体的な素材感を出す和紙の特色。」「21世紀型特色入試。」
「スポーツや文化の分野で秀でた生徒を対象にした特色化選抜。」「特色選抜制度。」

* ①と②に明確なさかひがあるわけではない。

* 「特色選抜」のような複合語の語例が少ない。また派生語も「特色化」「特色点」がみられるが、こなれた表現といえない。「特色」は造語力がとぼしいとみられる。

◎印刷業界用語 「特別に練ってつくった」→「色」《いろ・色彩》

【特色】(spot color, 特練色) カラー印刷をするとき、特別に調合したインクで表される色。通常の色は、青緑色(cyan)・赤紫色(magenta)・黄色(yellow)・黒(black)の4色(CMYK)の割合を変え、細かい編点を複雑に組み合わせることで擬似的に色を再現する方法をとる。表現できる色にかぎりがある。金や銀、蛍光色などはあらかじめ個別のインク(特色インク)が用いられる。

「特色」の用例

- 10-01 昔の人が楽しんだ演劇には、今も続いているものがあります。それぞれの**特色**を見てみましょう。
(「古典芸能の世界」光村図書6年)
それぞれ**特色**のある演劇で、今も演じ続けられ、わたしたちを楽しませてくれています。
(光村図書 2006 年版 6 年上)
- 10-02 いろいろな読み物を読んで、その**特色**や心に残る言葉・表現などを見つけ、友達にしょうかいしましょう。
(光村図書 2006 年版 4 年上)
[注]「色」は2年配当漢字だが、2020 年版で[ショク]の読みは、光村図書が5年、東京書籍が3年で提出している。教育出版と学校図書は2年。
- 31-03 あなたが住んでいる地域の川は、どのような**特色**がありますか。
(『新しい社会』東京書籍 2005 年版 5 年)
- 10-04 海坂藩普請組の組屋敷には、ほかの組屋敷や足軽屋敷には見られない**特色**が一つあった。組屋敷の裏を小川が流れていて、組の者がこの幅六尺に足りない流れを至極重宝にして使っていることである。
(藤沢周平「蟬しぐれ」光村図書 2005 年版 中学 3 年)
- 10-05 あなたが住んでいる地域の川は、どのような**特色**がありますか。
(『新しい社会』東京書籍 2005 年版 5 年)
- 10-06 分布や統計数値などが表された主題図から、**地域的特色**を読み取る。
地域の統計や景観などを、他の地域と比較したり、関連を調べたりすると、**地域的特色**のちがうところと似ているところがわかります。
(『新しい社会』地理、東京書籍 2005 年版 中学校)
- 10-07 地球環境問題の**特色**をまとめてみると、第一は、空間的な広がりを持ち、国境をこえた地球規模の問題であること、第二は、時間的な広がりであり、長い時間をかけて進むプロセスであること、第三は質的な広がりであり、予見しにくい被害を引き起こしたり、因果関係がはっきりしないことが多いということである。
(『現代社会』東京書籍 2005 年版 高等学校)
- 10-08 日本の美術を、時代精神や諸外国との交流、影響関係などに目を向けながら鑑賞し、日本の美術の**特色**や魅力を味わいましょう。
(『美術』日本文教出版 2005 年版 高等学校)

5. (20) 特徴

〔国字研プリント〕わたしの先生の**特ちょう**は、早口なことだ。

〔批判読み教育基本語イ〕論理性を確かにし感情の質を高めるもの、小学校6年

〔児言研教育基本語イ〕小A

〔阪本教育基本語イ〕小学校高学年第1レベル

とくちょう【特徴】名詞

とくに目立つところ

徴 ① 《とりたてる・めしだす》徴収・徴用・徴兵
② 《しるし》象徴・特徴

《特に他とちがって目立つしるし》「徴②」の意。

≒特色・特性・特質

「目元に特徴がある顔。」「特徴のある声。」「高温多湿が日本の夏の特徴だ。」

「特徴づける。」「性格的には怒りっぽいという特徴がある。」

「特徴」の用例

〔注〕現行の教育出版2020年版5年は「とくちょう」をかな書き表記している。2015年版が「特徴」と漢字表記していたのをあらためた。なお、以下の教育出版、光村図書ともに現行版6年では「徴」にふりがなをふって掲載している。

- 20-01 話し言葉と書き言葉にみられる**とくちょう**をあげてみましょう。／話し言葉の**とくちょう**／書き言葉の**とくちょう**（「話し言葉と書き言葉」教育出版5年上）
- 20-02 すいせんする本を決めて内容を考える。本の**とくちょう**を考える。
（「図書すいせん会をしよう」教育出版5年下）
- 20-03 筆者は、「まんがの方法」をしようかするとき、どのような手順で説明していますか。表現の**とくちょう**にも気をつけて、考えたことを話し合みましょう。
（「まんがの方法」教育出版5年下）
- 20-04 日本の自然の**特徴**の一つは、四季があることです。春・夏・秋・冬、それぞれにおもむきがあります。
（「春はあけぼの」教育出版6年上）
- 20-05 『きつねの窓』のように、登場人物が不思議な世界に入り、またもどってくるという構成は、「ファンタジー」の**特徴**の一つです。
（「ここが大事 ファンタジーを読む」教育出版6年下）
- 20-06 方言と共通語は、どちらも大事なものです。それぞれの**特徴**をよく知っておきましょう。
（「方言と共通語」光村図書5年）

- 20-07 メディアの種類と**特徴**を知り、情報とうまく付き合っていこう。
新聞の**特徴**は～〔略〕～などです。（『情報を伝えるメディア』光村図書5年）
- 20-08 だから賢治の言葉は、「その年の気候の**特徴**を、いろんな角度から見て、しっかりつかむことが大切です。」という意味になる。
（畑山博「イーハトーヴの夢」光村図書6年）
- 20-09 「あなたのこの田んぼは、こういう**特徴**があるから、今年は、こういう肥料をこのくらいやりなさい。」（畑山博「イーハトーヴの夢」光村図書2006年版6年下）
- 20-10 「丸屋根の部分は、支柱の鉄骨がドームの形となり、この傷だらけの建物の最大の**特徴**を、後の時代にとどめることとなった。
（大牟田稔「平和のとりにてを築く」光村図書6年）
- 20-11 物体の運動の**特徴**を考えると、私たちはまずその物体の速さに注目する。
（『理科総合』新興出版社啓林館2005年版 高等学校）
- 20-12 このような動きは、終身雇用や年功序列賃金、それに企業別組合などを**特徴**とするいわゆる日本的経営方式を土台から揺すぶっている。
（『現代社会』東京書籍2005年版 高等学校）

6. (19) 特長

〔児言研教育基本語イ〕小A
〔阪本教育基本語イ〕小学校高学年第1レベル

とくちょう【特長】名詞

とくにすぐれているところ

《**特別の長所**》の意 《とりわけすぐれる》
≡ 特色・とりえ・美点・強み

「特長を生かす。」「各人がその特長を発揮する。」「新製品の特長を列挙する。」
「この機種の特長は操作しやすいことだ。」「このカメラの特長はきわめて軽いことだ。」
「水に強く軽いのがこの生地の特長だ。」「この学校の特長は学生が礼儀正しいことです。」

「特長」の用例

- 19-01 直径約二、三センチ、五つの花弁をもつ花みかんは、かれんなすがたとともに、なんといっても、あまく、かぐわしいそのかおりが**特長**である。
（黛まどか「薫風」教育出版6年上）
- 〔注〕教育出版2015年版には「ポスターを使った発表の特長」（4年下）、「新聞の特長」（5年上）、「新商品の特長を宣伝する。（6年上）」などがあったが2020年版は挙例の「薫風」だけとなった。筆者の意向によるのだろう。なお光村図書から「特長」は確認できていない。

19-02 携帯電話大手のKDDIは、東山動植物園（名古屋市千種区）で、人工知能（AI）カメラで動物の個体を見分けられる「one zooスコープ」の提供を始めた。スマートフォンをかざすとその動物の愛称や**特徴**、家系図などを調べることができる。同スコープの**特長**は、複数飼育されている動物の個体を見分けられること。たとえば、アミメキリンは同園にトリノ、マオ、カンナの3頭がいるが、スマホのカメラをそのうちの1頭に向けるとAIが識別して、どれかを教えてくれる。さらに、それぞれの性格や家系図なども表示される。
（スマホかざすと動物愛称 AIで個体識別『読売新聞』2021年6月29日）

19-03 ビールの種類は、小麦麦芽を50%以上使った「ヴァイツェン」で、フルーティーな香りが**特長**。湧き水と米を加えた効果でより柔らかな味となり、飲みやすく仕上がった。
（金剛山ビール、村名物へ 千早赤阪の住民ら考案『読売新聞』2021年9月3日）

19-04 紙の質感を残しつつ、カラフルでジェンダーフリーなデザインも**特長**だ。
（貝印 脱プラ98%、薄い「紙カミソリ」『朝日新聞』2021年8月30日）

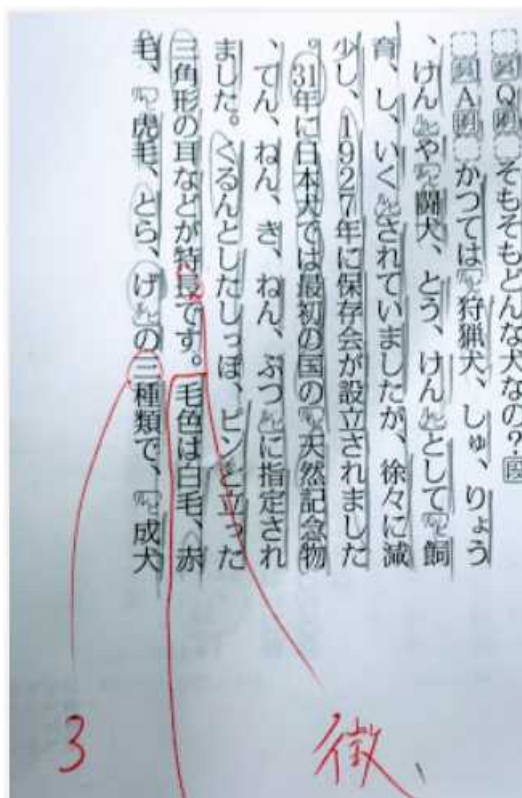
19-05 東京五輪のアスリートの名を見ていて、はからずも漢字の力に出くわすことがありました。スケートボード女子ストリートの金メダリスト西矢椛（もみじ）さん。「木」に「花」で、あの紅葉を書き表せるとは……。今回のアンケートでも、こうした**特長**をもつ漢字に親近感や魅力を感じる人が想像以上に多いことが分かりました。
（フォーラム漢字どう思う？稲垣直人記者『朝日新聞』2021年8月22日）

[注] ここで「**特長**」とあるのは漢字に対するある種のバイアスを稲垣記者がいただいているからだろう。

19-06 【右写真】秋田犬の記事で「ピンと立った三角形の耳などが**特長**」とありました。三角形の耳がよいか、丸い耳がよいかという話ではないので、「**特徴**」の方がふさわしいです。
（「**特長**」と「**特徴**」，コラム毎日ことば・校閲記者から『毎日新聞』2018年4月22日）

19-07 「中小企業ですから大手にない強みがないと生き残れない。女性向けの警備、障害者に対応する警備に強さを持てれば、会社の**特徴**になるとも考えました。」
（パラリンピック 車いすの警備員と開きかけのドア NHK ニュース 2021年9月3日）

[注] NHKニュースで「**特長**」をつかったケースは確認できない。



[用法] 「特徴」「特長」と「特色」

特 徴	特 長
<p>*とくに目立つところ</p> <p>評価の視点とかわりなく 長所にも短所にもつかえる。(1)</p> <p>すでに存在する異なりについていうことが多い。(1)</p>	<p>*とくにすぐれているところ</p> <p>長所のみにつかう。実用的な利点のみとめられる場合にもちいる。</p> <p>対象についてことさら価値づけるときに使う傾向がある。</p>
<p>【新製品の特徴】他と区別するための目印となるような点をいい、このよしあしにかかわらない。(2)</p>	<p>【新製品の特長】特にすぐれている点をいう。(2)</p>
<p>【本書の十大特徴】(広告)【本書の十大特長】 すぐれる点を訴えていることには変わりはない。 慎み深さが出る。(3) 露骨に訴えていると感じられる。</p>	
<p>【特徴】「顔の特徴を覚える」のように、そのものが持っている、特に他と違って目立つ点をいい、そのこのよしあしには関係はない。(4)</p> <p>《他と異って目立つ点》の意では相通じて用いられる。 「各人がそれぞれに特徴を発揮できる職場」 「各人がそれぞれに特長を発揮できる職場」 「各人がそれぞれに特色を発揮できる職場」</p> <p>【特色】「日本語の特色の一つに敬語がある」「手先が器用という特色を生かして仕事をする」のように、他と特に異なっている点を指すほか、他と比べてすぐれている点の意でも使う。</p>	<p>【特長】「このカメラは扱いが簡単で、軽いという特長がある」のように、他よりすぐれている点を表すことが多い。(4)</p>

(1) 伊藤真梨子「近代の「特徴」と「特長」—同音類義語の意味侵食」『東洋文化研究』(学習院大学東洋文化研究所), (2) 大修館書店『明鏡国語辞典』, (3) 東京堂出版『同音語同訓語使い分け辞典』, (4) 小学館『大辞泉』

- * 「**特長**」は長所のみを使うが、「**特徴**」は長所、短所ともに使えることから使われる範囲が広い。「**特長**」のほとんどは「**特徴**」と表記して問題ない。
- * 「**特長**」は、対象についてことさら価値づけるときに使う傾向がある。
- * 「**特色**」は長所につながる他との相違点という意味から多用される。
- * 欠点につながる部分や好ましくないことがらについては「**特色**」は使われない。
- * 「**特色**」は「**特徴**」同様に意味範囲が広い。しかし、理科など客観的な記述では「**特色**」はつかわない。
- * 「**特色**ある・**特徴**ある」「**特色**化・**特徴**化」はみられるが「**特徴**的な」「**特徴**づける」といった派生語は「**特色**」にほとんどみられない。

『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(BCCWJ) (国立国語研究所)

対象は 1976 年から 2005 年の文書

	総計	法律	国会	白書	広報誌	新聞	雑誌	書籍	韻文	ウェブ	教科書
特徴	8729	0	129	572	147	94	702	6152	0	712	221
特長	306	0	0	23	8	11	28	184	0	52	0
特色	1341	2	63	174	67	22	23	826	0	47	117

白書における「特長」の用例 計 23 件

『厚生労働白書』厚生労働省	1 件	『森林・林業白書』林野庁	2 件
『首都圏白書』国土交通省	1 件	『中小企業白書』中小企業庁	2 件
『通信白書』郵政省	6 件	『環境白書』環境庁	1 件
『科学技術白書』科学技術庁	2 件		
『原子力白書』原子力委員会	8 件 (19-09 の一文に 2 語あるので実質 9 件)		

『原子力白書』における「特長」の用例

- 19-08 原子力船は、少量の核燃料で長期間の運航が可能であり、高出力になる程経済性が良くなる等の**特長**を有するので、その実用化が期待され、日本原子力船開発事業団における原子力第 1 船「むつ」の開発を中心として研究開発が進められてきたが、昭和四十九年 9 月、出力上昇試験中に遮蔽の不備による放射線漏れが発生したことなどにより、その開発は大幅に遅延している。(昭和 56 年版)
- 19-09 この結果、新型転換炉は、中性子の利用効率の高い重水減速の炉であるという**特長**とあいまって、プルトニウム及び減損ウランを有効かつ容易に利用できる**特長**を持つ原子炉となった。(昭和 57 年版)
- 19-10 原子力船は、海運に対するエネルギー供給面の制約を緩和することができ、少量の核燃料で長期間の運行が可能であるなどの**特長**を有するので、その実用化が期待されており、日本原子力船開発事業団における原子力第 1 船「むつ」の開発を中心に研究開発が行われている。(昭和 57 年版)
- 19-11 原子力発電は、現在、軽水炉が中心であり、この軽水炉主流の時代が今後相当の期間にわたって続くとの見方が強まりつつあるが、軽水炉によるウラン燃料の利用という形態は、燃料の海外依存という点において基本的には化石燃料と変わるものでなく、プルトニウムの利用等の技術面での努力により資源面での対外依存度を低減し得るといふ、この原子力の**特長**を十分に生かすものでない。(昭和 59 年版)
- 19-12 原子力発電は、経済性に優れ、大量かつ安定的な電力供給源として最も有望なものであるが、使用済燃料の再処理によって回収されるプルトニウム及びウランが国産エネルギー資源として扱うことができ、その利用によりウラン資源の有効利用を図ることができるとともに、資源面での対外依存度を低減できる点に、化石燃料資源とは異なる**特長**を有している。(昭和 59 年版)
- 19-13 重粒子線は、患部に放射線を集中照射することが可能なので、正常組織への影響を最小限に抑えられることに加え、放射線感受性の低い悪性腫瘍に対しても治療効果が高く、臓器組織の内側の診断にも利用可能である等、優れた**特長**を持つものである。(昭和 59 年版)
- 19-14 型炉「ふげん」については、今後、その**特長**を活かしてプルトニウム利用技術開発施設や国際的共同研究施設等として有効に活用していくことが検討されている。(平成 7 年版)
- 19-15 新型転換炉 (ATR) は、プルトニウム、回収ウラン等を柔軟かつ効率的に利用できるという**特長**を持つ原子炉として自主開発を進めてきた。(平成 7 年版)

7. (21) 特定

とくてい【特定】

とくにこれときめること

《特に指定する》の意

①③ 《特にそれと→指定すること》, ② 《特に→定められていること》

① 名詞・他動詞サ変

多くの中からとくに指定すること。

《特に（特別に）指定したりそのものだけに限定したりすること》

《範囲がかぎられていること》

「特定の日」「特定の個人」「特定の店で買う。」

「特定の品物を安売りする。」「特定の人だけが見学を許された。」

「特定の組織と結びつかないと当選はおぼつかない。」

「特定株」「特定銘柄」「特定条件」

② 名詞

とくにそれときまっていること。

《当事者同士の話し合いで定まっていること》

→不特定

「特定の目じるし。」「特定の服装で出席する。」「特定のボーイフレンドはいない。」

③ 名詞・他動詞サ変

とくにそれと断定すること。

《多くのものの中で特にそのものだけが該当すると判断すること》

《「これだ」と一つのものにきめること》

「感染源を特定する。」「大ぜいの中から特定する。」「だれと特定できない。」

「犯人を特定することは現段階ではまだ困難だ。」「死亡時刻を午前一時と特定する。」

「特定」の用例

21-01 多くの外来語は、それまで日本になかった文化とともに入っていました。
特定¹の国や地域から、特定²の分野の言葉が多く入ってきていることもあります。
(「和語・漢語・外来語」教育出版5年下)

21-02 「いぬ」の「い」や「いす」の「い」は、決まった意味を表すのではなく、
「イ」という音を表します。仮名は音を表すだけで特定³の意味を表さないのです。
漢字と仮名の大ききちがうところです。(「日本語の文字」教育出版6年下)

21-03 文中に係助詞「ぞ・なむ」「や・か」「こそ」があると、その文節が係って
いく下の活用語は、文を言い切る際、終止形以外の**特定**の活用形になる。

(『国語総合』教育出版 2006 年版 高等学校)

21-04 その定数に**特定**の値を与えると、関数が1つに定まる。

(『数学Ⅲ』東京書籍 2006 年版 高等学校)

21-05 これによって、保全の対象になる地域を**特定**し、それらの地域に保全上ど
のような問題があり、それを解決するにはどうすればよいかを具体的に検討
することができる。

(『新編理科総合』東京書籍 2006 年版 高等学校)

21-06 フロンの削減については、千九百九十二年のモントリオール議定書の改定
で、オゾン層を破壊する力の強い**特定フロン**の全廃が決まり、先進国では千九
百九十五年末で生産と消費が打ち切られている。

(『現代社会』東京書籍 2006 年版 高等学校)

21-07 後払式・前払式割賦販売，ローン提携販売，割賦購入あっせん，**前払式特
定取引**（互助会など）について規制している。

訪問販売の他，通信販売，電話勧誘販売，連鎖販売取引，**特定継続的役務提
供**，業務提供誘引販売取引について規制している。

(『家庭基礎』実教出版 2006 年版 高等学校)

21-08 日本では福祉，人権，環境などの面で活動する市民団体の数や事業規模は
先進諸国と比べて見劣りがするが，こうした事態を改めるために非営利組織(N
P O)に法人格を認めてその活動を促進することをめざすN P O法(**特定非営
利活動促進法**)が成立した。

(『政治経済』東京書籍 2006 年版 高等学校)

[用法]「特定の」「特定する」の用法が圧倒的に多い。「不特定」「特定化」な
どの派生語がみられる。また「特定□□」という複合語が多数みられる。

【不特定】特にそれと定めないこと。また、定まっていないこと。

「不特定な対象」「不特定の対象」「不特定の客」

【不特定多数】「不特定多数の有権者に訴える。」「不特定多数の読者」

【特定化】「所在地特定化」「非特定化处理」「行動方程式の誤差項の特定化」

造語成分としての「特定」 複合語の例

【特定秘密】【特定技能】【特定給付金】【特定被災区域】
【特定外来生物】【特定重要港湾】【特定非営利活動法人】【特定郵便局】
【介護専用型特定施設】【地域密着型特定施設】【特定家庭用機器再商品化法】
【特定機能病院】【特定疾患】【小児慢性特定疾患】【特定健康診査】
【特定保健用食品】【伊右衛門**特茶**】【特定物】（取り引き用語）【特定商取引法】
【特定銘柄】【特定線引小切手】【特定危険指定暴力団・工藤会】
【特定扶養控除】【特定財産】【特定遺贈】【特定承継】↔包括承継

【特定防衛施設】ジェット飛行場，砲撃が行われる演習場，面積の広大な防衛施設など，その設置又は運用が周辺地域の生活環境や開発に著しい影響を及ぼしている施設。「防衛施設の生活環境の整備等に関する法律」の用語。

【特定重要施設】重要施設のうち、その施設機能が特に重要なもの又はその施設機能を阻害することが容易であるものであって、他の重要施設によるその施設機能の代替が困難であるものをいう。自衛隊基地のまわりや国境離島などの土地の利用を規制する土地規制法の用語。

【特定国境離島等】国境離島等のうち、その離島機能が特に重要なもの又はその離島機能を阻害することが容易であるものであって、他の国境離島等によるその離島機能の代替が困難であるものをいう。土地規制法の用語。

【特定重大事故等対処施設】〔**特重**〕故意による大型航空機の衝突やその他のテロリズムにより、原子力発電所の炉心の損傷が発生するおそれがある場合などに対し、放射性物質の放出を抑制するための施設(原子力規制庁の用語)。

【特定枠】参議院議員比例代表制選挙における候補者名簿内の枠組みの一つ。

【特定建築物】高齢者・障害者等が円滑に利用できる建築物。

【特定措置区域】広大な面積の北海道は新型コロナウイルス感染症の感染状況が一様でないことをふまえ、他県のように域内一律の緊急事態措置をおこなわず状況に応じて措置を指定する区域。

《特定》の意味を「特」の字に もたせている漢字語

【特定】特にそれと→指定すること。特に→定められていること。〔↔不特定〕

【特赦】特定の人→恩赦

【特権】特定の人→権利

【特許】特定の人のために新たに特定の権利を設定する行政行為。

【特集】特定のテーマの→編集

8. (21) 独特

〔児言研教育基本語イ〕 中B

〔阪本教育基本語イ〕 小学校高学年第2レベル

どくとく【独特】 形容動詞（終止形「独得だ」）

そのものだけが 特別にもっているようす

《他にはなく、そのものだけにあってきわだっているさま》
《そのものだけが特徴的に持っているようす》
≡ 独自・固有・**特有**・ユニーク

「独特な色合い。」「独特な味わいがある。」「独特な口調」「独特な語り口」
「独特な性質」「独特のやり方」「独特の雰囲気」「彼独特の文体」「一種独特の奏法」
「パティシエ独特の製法で作った菓子」（≡独自）
「セロリ独特の香り」（≡特有）

【**独得**】《自ら会得するさま》《独自に会得し他人の企て及ばないさま》
《その人だけが会得していて、他の人には及ぶことができないこと》

「一種独得の奏法」「独得の技術」「自家独得の曲乗のままで」〈漱石・自転車日記〉

* 自分で会得した意では多く「独得」と書いたが、**今では「独特」が一般的。**（明鏡国語辞典）

【**独特さ**】 名詞

「長谷川さんの竹工芸作品は、束ね編みを筒状にした**独特さ**が評価された。」

「独特」の用例

21-01 このまんがでは、ナレーターの語り方が、作品に**独特**のおもしろさをあたえています。
（石田佐恵子「まんがの方法」教育出版5年下）

21-02 君と友達が、同じチョコレートを食べるとする。チョコレートを口に入れると、君は**独特**のかおりとあまみ、そして苦みを感じる。君が、「あまいね。」と言うと、友達も「うん、あまいね。」と言って、にっこりする。でも、君の感じているあまみと、友達が感じているあまみが同じだ、と言いきれるだろうか。
（西研「ぼくの世界、君の世界」教育出版6年下）

21-03 「やまなし」には、作者の**独特**な表現が多く用いられている。心を引かれる表現に線を引き、情景を想像しよう。

（「やまなし」てびき 光村図書6年）

21-04 「歌舞伎には、**独特**な演出や演技があります。

（「古典芸能の世界」光村図書6年）

21-05 せりふは昔の言葉のまま、**独特**の調子があります。

(「狂言 柿山伏」光村図書 6年)

21-06 「私は長年、新聞の用語の仕事をやってきましたので、本日は情報を正確に分かりやすく伝えるという、言わば書き言葉のコミュニケーションといった観点で、新聞が実践してきている語彙や表現の言い換えを中心にお話したいと思います。(中略)

ワープロ、パソコンの普及で、**難しい漢字**が打てるようになって、常用漢字も改定で数が増えた。一般に使われる漢字の数は増えてきています。書けなくても読める漢字ならまだしも、よく分からないけれども、打ったら変換できてしまったというものも少なくないと思います。日本人は漢字を有り難がり、過度に思い入れをする傾向があって、難しい漢字を使う方が何か立派だといった意識がどうも根強いのではないかと。そういう意識自体を書き言葉における分かりやすいコミュニケーションという観点から反省してみてもいいかもしれません。(中略)

難しい言葉を言い換えるだけではなくて、難しくない言葉も言い換えるということについてです。ここにおいでの方々は新聞に寄稿されたり、あるいは談話を寄せられたりした方も多いのではないかと思えます。その際に、「状況」と書いたのに「状況」に直されたとか、「**独得**」と書いたのに「**独特**」と直されたとか、表記を換えられたという経験をお持ちの方もいらっしゃるのではないかと思います。別に難しい言葉ではないし、みんな常用漢字です。それなのに何でそんなことをするのかと腹を立てられた方もいらっしゃるかもしれません。(中略)

新聞は何でこんなふうに表記を統一するのか、もっと多様な表記を認めてもいいのではないかと批判を受けることがあります。難しい語で言い換えるのは分かるとして、同じ意味で表記が異なるだけなのだから、別にいいのではないかという意見もあると思います。むしろ多様な表記がある方が言葉としては豊かで、文化とはそういうものだといった意見もあると思います。もちろん、文芸作品ではそうでしょうけれども、情報を伝達するということが目的の新聞記事では、同じ意味を表しているようなのに異なる表記が現れると、戸惑いというか、引っ掛かりが生まれて、読解する思考の流れが止まってしまうということもあるのではないかと。福田委員(福田由紀・法政大学・心理学)が前回、ワーキングメモリーの容量というお話をされていて、そういうちょっとした戸惑いがあると、それを処理する、つまり、これはあれと表記が違うのだけれども、同じ意味なのだろうかとか、あるいは、別の言い方になっているのは何か意図があるのだろうかということに、メモリーの容量を取られて、せっかくそこまで保持してきた情報を忘れてしまったり、それから先の情報を処理するのが面倒臭くなってしまったり、そういうことがあるのではないかと。それは、言葉そのものが難しいため理解でき

ないというのとは、また違った、読解における「壁」でしょう。(中略)

表記統一というのは、読解する上での障壁、壁をなるべく少なくする、道をなだらかにするという意味合いがあると思います。(中略)

それ(同音語のこまかなちがい)にこだわって一つの記事の中で仮に使い分けたとしても、恐らくその意図は読者には伝わらない。何で違うのだろうかとか、そっちに頭が行ってしまって肝心の内容が頭に入っていないということもあるのではないか。そういう意味で、表記統一することで余分なところでワーキングメモリーを消費させないという効果があるのではないかと考えています。

(関根健一 「第5回文化審議会国語分科会国語課題小委員会での発表」2016年10月7日
読売新聞東京本社紙面審査委員会用語専任部長(当時)、一般社団法人日本新聞協会用語懇談会委員(当時))

[注] 関根健一さんは、2019年5月読売新聞社を退職。文化審議会委員もやめた。

P.18 19-05 執筆の朝日新聞の稲垣記者や、P.18 19-02 「動物の愛称や**特徴**・同スコープの**特長**」を執筆した読売新聞の現役記者らは先輩の関根記者の発表から学ぶべき。

9. (38) 特有

[阪本教育基本語イ] 小学校高学年第1レベル

とくゆう【特有】 名詞

それだけがもっていること

《そのものだけが特に持っていること》
《そのものだけに特別に備わっていること》
《ほかにはなくてそのものだけが持っていること》
《特別にそれだけが所有すること》
≡ 固有・独特・独自
→ 通有

「この花には特有のかおりがある。」「ダイヤモンド特有のかがやき」
「ガス特有のにおい」「特有の臭気をもつ気体」「セロリ特有の香り」(≡独特)
「日本人特有の発想」「地中海沿岸特有の気候」「バロック時代に特有の器楽形式」
「この地方に特有な慣習」「日本に特有な社会現象」「江戸っ子に特有な気質」

【特有性】 そのものだけが特にもっている性質。特性。

【特有財産】 夫婦の一方が、婚姻前から有する財産、および婚姻中に自己の名で得た財産。 → 共有財産

「特有」の用例

38-01 まんがに**特有**の、共通した表現方法が見られるからです。これを「まんがの方法」とよぶことにしましょう。(石田佐恵子「まんがの方法」教育出版 5 年下)

38-02 わたしたちは、ふだん、家族や友達と話するとき、住んでいる地方**特有**の表現をふくんだ言葉づかいをしています。(「方言と共通語」光村図書 6 年)

38-03 いやあ、と長崎弁**特有**の柔らかい注意の仕方で、原が私のオーバーコートの袖を引いた。(『現代文』教育出版 2007 年版 高等学校)

38-04 夫婦の財産は別産制といって、各自が取得したものは本人の**特有財産**となり、どちらの財産か不明のもののみ夫婦の**共有財産**となる。(『家庭基礎 自分らしい生き方とパートナーシップ』実教出版 2006 年版 高等学校)

10. (43) 特 急

[国字研プリント]「**特急列車**が走っている。」

[阪本教育基本語イ] 小学校高学年第2レベル

[就学前幼児の語イ調査] 6才4か月の女兒1名がある土曜日の約8時間のなかで1回つかった。

とっきゅう【特急】 名詞

とくにいそいですること

《特に→急ぐ》

- ① 「特別急行」の略。(⇒ P.7)
《特別急行列車》
《主要な駅だけに止まり、普通急行よりも早く目的地に到着するようにした電車や列車》

「特急券」「特急停車駅」「特急通過駅」「新特急」「快速特急」

- ② 《とくにいそぐこと》
≡大至急・大急ぎ

「特急でやってほしい。」「特急で仕事を片付ける。」「洋服を特急で仕立てさせる。」「特別に急を要すること。」「特急で原稿を送る。」「特急便」

「特急」の用例

国語教科書では、語構成教材で略語の例として「特別急行＝特急」をしばしばとりあげます。

11. その他の語

- 15 **とくだい**【特大】特に→大きい（特別に→大きい）≒キングサイズ
「特大ケーキ」「特大号」「特大のくつ」
- 12 **とくせい**【特製】特別に（手をかけて）→つくる（作製する）。特別製。
特製カレーを食べれば、きげんも直るさ。
「お父さんウィーク」の初日、お父さんは、さっそく特製カレーライス
を作った。 （重松清「カレーライス」光村図書5年）
「特製の品」「当店の特製フルーツケーキ」
- 29 **とくばい**【特売】特別に安く→売る。
「特売品」「特売場」「特売日」
- 4 **とくさん**【特産】特にその地に→産する。（その産物）
「特産品」「この地方の特産物」「日本特産のわさび」「甲州特産のブドウ」
- 14 **とくせん**【特選】特に→選ぶ（特別に→選抜する）（特別に→選抜されたもの）
「特選品」「特選の服地」「特選の素材」
「書き初め展で特選をとる。」「特選に入賞する。」
- 24 **とくとう**【特等】特別すぐれた→等級。（通常、一等のさらに上位のもの）
「特等席」「特等賞」「福引で特等があたる。」「特等に選ばれる。」
- 46 **とっくん**【特訓】「特別訓練」。特別に行う→はげしい訓練
「特訓を受ける。」「夏休みに特訓する。」
- 18 **とくちゅう**【特注】「特別注文」「特別発注」
「特注品」「家具を特注する。」「専門の業者に特注する。」
- 8 **とくしゅう**【特集】特定のテーマの→編集
「特集号」「特集記事」「特集番組」「終戦記念日特集」「鳥を特集する。」「特集を組む。」